



『N』 道尾秀介 著 集英社

バトラーによる本紹介（一部抜粋）

「僕が今日紹介するのは、道尾秀介さんの『N』という本です。この本は、1章ごとに上下逆に印刷されています。何でこんな作りをしていると思いますか？作者によると、この6つの短い物語を、どの順番に読んでも話がつながるような仕組みを楽しめるように、この作りになっているそうです。なので、1、2、3、4、5、6の順番でなくても、3、4、5、2…そんな適当な順番でも話がつながっている作品です。」



『みんなを殺したかった』木爾チレン 著
二見書房

バトラーによる本紹介（一部抜粋）

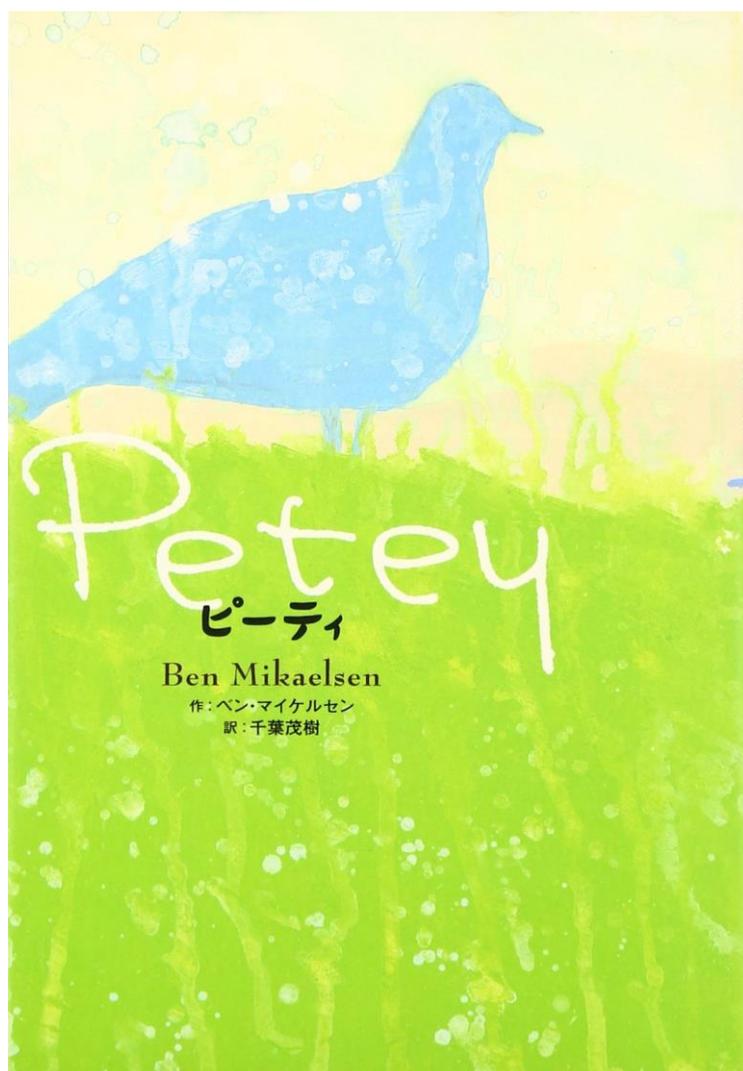
「みなさん、願い事ってありますか？イケメンになりたいとか、好きな人と結ばれたいとか、そんな欲望、みなさんありますよね？もちろん、私にもあります。人間の欲望にゴールはありません。人が、願い事の反対が、自分の姿だと思っ込んでいますからです。では、今、目の前に、あなたの願望を全て手にした存在が現れたとしましょう。あなたは、その人に、どんな感情や感想を持ちますか？すごいなって、尊敬しますか？また、ねたんだり、嫉妬したりしますか？その事を頭の片隅に置いて、私の話を聞いてください。」



『「自分だけの答え」が見つかる13歳からのアート思考』末永幸歩 著 ダイアモンド社

バトラーによる本紹介（一部抜粋）

「みなさん、美術って好きですか？僕は、好きかって聞かれると、まあ、好きっちゃ好きな方なんですけど、数学とか英語とかと比べると、ちょっと分からないというか、難しいですよ。ね？みなさん、どうですか？美術を好きな人って、工作をするのが好きだったり、絵を描くのが得意やからとかっていう人がいたり、一方、嫌いな人って、絵が下手くそ、自信がない、「美術の何が面白いんや！」そう思っているはずですよ。でも、本当にそれで良いのだろうか？美術に本当に上手い下手って必要なんだろうか？と思うんですよ。だから、今回、そんな人のために紹介したい本があります。」



『ピーティ』ベン・マイケルセン 著
鈴木出版

バトラーによる本紹介（一部抜粋）

「今回、私が紹介する本は、こちら『ピーティ』です。この本は、障がい者の話です。この本の特徴としては、物語が大きく2つに分かれていることです。

一つ目は、この本の主人公、「ピーティ・コービン」からの視点、第二部はピーティとは別の「トレバー・ラッド」という少年からの目線から描かれています。世の中に出回るたいいていの本は、誰か1人からの目線、もしくは、誰の目線からのものでもない、このどちらかに分かれている場合が多いですよ？しかし、この本は、一冊で2人の目線から物事を見ることが出来るため、読めば読むほど、新たな目線で物語を楽しむことができます。」